

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	運動発達支援スタジオ笑みりい〜深井					公表日	2024年 月 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	71%	29%	必要な広さを確保しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	71%	29%		規定の人員配置を満たしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	色テープで活動の場所がわかるようにしています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	71%	29%		利用クラスの終了ごとに清掃、消毒作業を行なっていきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	相談室を何も物品がない状態にして、落ち着いて過ごしたり、クールダウンの部屋として使用できるようにしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	86%	14%		定期的に話し合いの場を設け、職員全員で振り返りを行なっていきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	年度末に保護者にアンケートに答えていただき、結果を職員全体で振り返り、業務の改善に繋がっています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	終礼や支援会議、プログラムの相談など職員で話をする機会を多くとれるようにしています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	57%	29%		現時点では第三者による外部評価は行なっていません。今後実施できるよう検討している所です。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	86%	14%		全店舗合同での研修は行なっていますが、外部で研修する機会を増やしていけるように努めます。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	支援プログラムを作成して、ホームページで公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	作成時に保護者と面談を行ない、ニーズや課題が反映されるように努めています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	終礼時に、利用児の共有を細かく行なっています。また、ケース会議、支援会議で共通理解しています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	支援計画を職員全員で共有し、支援に当たっています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	57%	29%		支援会議の中で、心理師(職員)の意見を共有しながら話を進めていきます。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	86%	14%	発達年齢や今後の成長について保護者と話し合い、必要な支援内容を設定しています。	職員の意見がより反映できるように、ケース会議を充実させていきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	空き時間を利用して、チームで考えています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	同じプログラムにならないように考え、提供しています。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	職員間で利用児の状況を共有し、個別的な活動にも力を入れています。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	朝礼でその日の支援内容や役割分担を確認しています。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	毎日終礼時に、支援の振り返りを行ない共有しています。		

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	業務日誌や個人の記録をつけ、職員間で支援の情報共有をしています。	
	23	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	半年に一度見直しを行なっています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	児発管が中心で参加しています。状況に応じて指導員も一緒に参加することもあります。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	71%	29%		連携できるように努めています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	86%	14%	園送迎時に事業所での様子をお伝えしています。園から相談があった時には、より詳しく支援の内容をお話しています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	57%	43%		今のところあまり事例がないので、今後は就学前に情報共有できるように取り組んでいきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	57%	14%	今年度は堺市障害児通所支援事業者育成事業で、事業所に来ていただきスーパーバイズを受けています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%		今後、交流の機会がもてるよう検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	支援の終わりや送迎時に活動の様子などをお伝えし、お家での様子も聞かせていただいています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	29%	71%		ペアレントトレーニングや保護者も参加できる研修等を行なっていきたいと考えています。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	見学や体験時、契約の際に書面を用いて説明を行なっています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	支援計画更新時には面談を行ない、お子様や保護者さんの意向を聞かせていただいています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	支援計画の内容を説明し、同意を得た上で署名をいただいています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	面談や連絡ノートでのやり取りを通して行なっています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	保護者会を開催しています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	迅速な対応を心がけています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	ホームページのブログやインスタグラムで活動内容を掲載したり、ラインでお子さまの活動の写真や動画を見ていただいています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	個人情報の取り扱いには気を付けています。また個人を特定されないよう注意しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	絵カードや写真等の視覚支援を活用しています。	

	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	14%	86%		今後地域交流が持てるようなイベントの開催を予定しています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	定期的に訓練を行なっています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	BCPを策定して、災害時の物品を購入したり訓練を行なっています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	体験時や契約時に確認しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	基本的に食べ物を提供していません。イベント等でおやつ等を提供する際は保護者に確認しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	安全計画を作成して、月に1回安全点検を行なっています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	86%	14%		災害時の緊急連絡先の確認や来所時に災害が発生した場合の避難場所などを保護者さんに周知していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハット報告書を作成し、職員で共有し話し合っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	定期的に虐待防止の研修を行なっています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	71%	14%		身体拘束のマニュアルをもとに、必要に応じて保護者さんに相談後個別支援計画書に記載します。現時点で必要とする児童はいません。